ZI790Z661H01

MITSUBISHI

三菱IHクッキングヒーター据付工事説明書

ビルトインタイプ（単相200V）【家庭用】

販売店・工事店さま用

「設置基準適合」

形　名

CS-G3203BDS　CS-KMG03BDS

CS-G3203BD　CS-KMG03BD

工事される方へのお願い

- ■据付工事の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- ■据付工事完了後に試運転を行い、お客さまへ正しい使い方をご説明ください。
- ■この説明書では、イラストを簡略化しておりますので製品と一部異なります。
- ■この説明書は必ずお客さまにお渡しください。

1 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■図記号の意味は次のとおりです。

禁　止	接触禁止	アース線接続
分解禁止	指示に従う	

⚠警告

据付工事は、この「据付工事説明書」に従って、確実に行う

据付に不備があると、漏電・火災の原因になります。

200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する

この工事をしないと、配線部が異常発熱する恐れがあります。

絶対に分解・改造は行わない

分解禁止

発火・異常動作してけがをする恐れがあります。

電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う

接続・固定が不完全な場合、漏電・火災の原因になります。

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う

アース線接続

漏電時に感電の恐れがあります。

⚠注意

トッププレートに衝撃を加えない

万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因になります。

試運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部に触れない

接触禁止

やけどの恐れがあります。

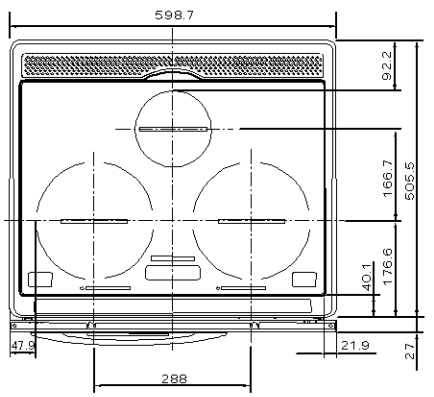
ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う

熱硬化樹脂化粧板（JIS・K・6903）またはこれと同等以上のもの。
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。

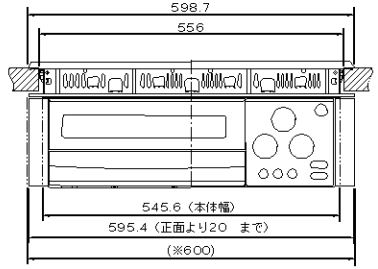
※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

2 製品外形寸法図

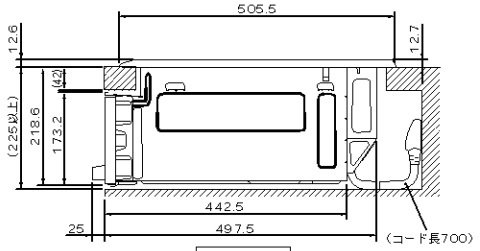
単位 mm



上面図



正面図

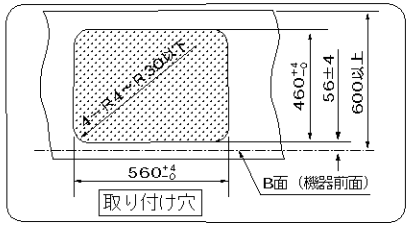


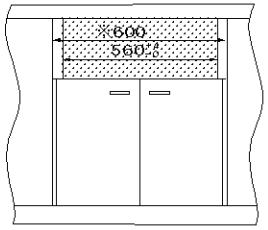
側面図

※据付の際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。

システムキッチンとの関係寸法図

単位 mm

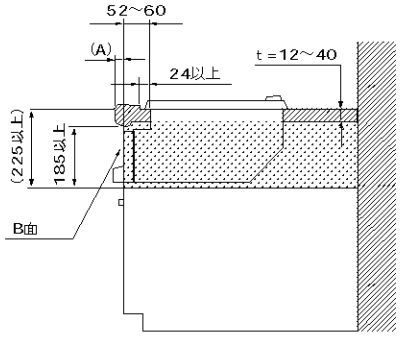




正面図

※据付の際、前面より奥行20mmまでは600mm幅の空間が必要です。

部分への突起は不可



側面図

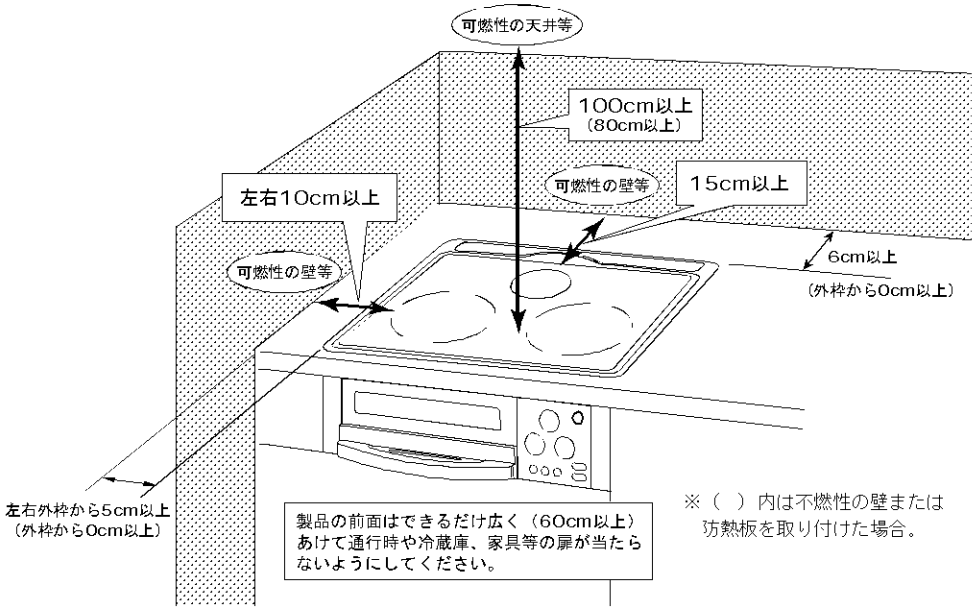
※A寸法はワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。

3 据付場所の確認

火災予防条例、電気設備技術基準に従って据付けしてください。

壁・天井等からの距離

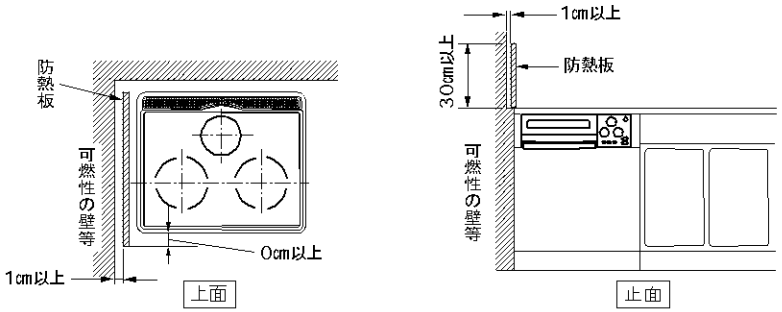
■周囲が可燃性の壁の場合（防火構造壁以外）



※（ ）内は不燃性の壁または
防熱板を取り付けた場合。

■可燃性の壁から、上記の距離を離して据付けできない場合

●防熱板を取り付ける



お願い

製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。（電気設備技術基準第59条で危害なきよう設置することが定められています）

4 電気工事 必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路と漏電しゃ断器の設置

■電源にブレーカー付きの専用回路を設置する

●200V・30A以上の専用回路を設置する。
●電源は必ず単相200Vを使用する。
●三相三線式には絶対に接続しないでください。
●屋内配線用電線は、線径φ2.6mmのものを使ってください。

■漏電しゃ断器を必ず設置する

【推奨漏電しゃ断器】
定格電流30A、感度電流30mA

コンセントの設置

■電源コンセント……単相定格250V・30A（一極接地用）

●電源コードの直付は絶対にしないでください。

コンセント差し込み形状

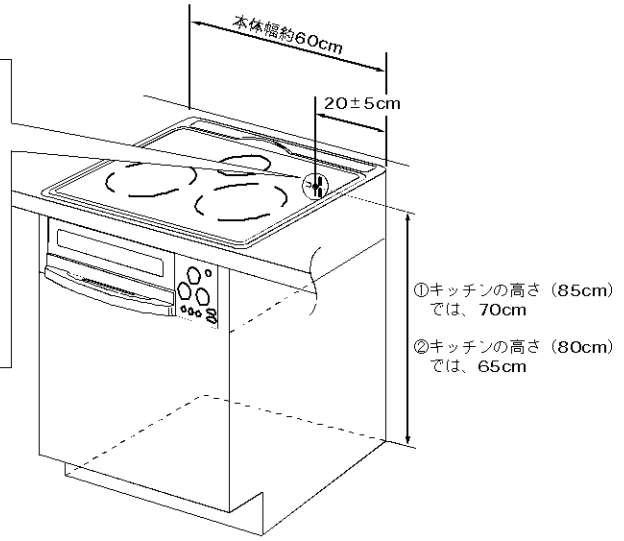
接地2P30A

■コンセントの位置

システムキッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。

【コンセントの向き】

※コンセントの向きに注意してください。
コードがキャビネットにあたります。



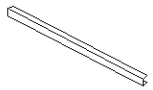
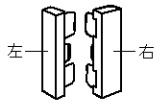
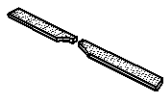
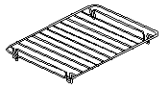
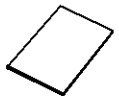
D種接地工事を必ず行ってください。 コンセントの一極接地用に配線してください。

5 据付する

据付前の準備

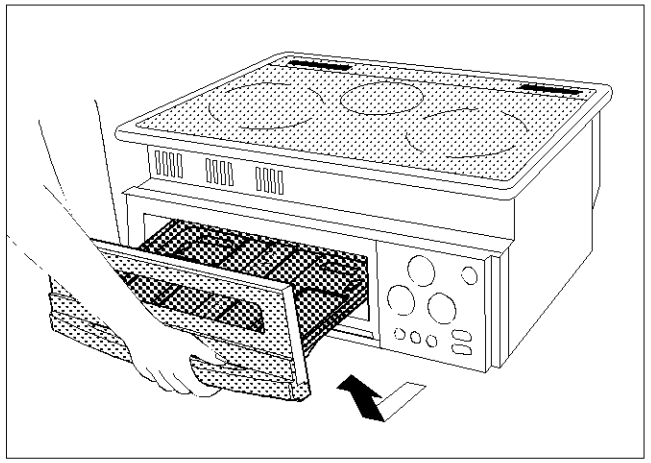
■包装材料を取り外し、同梱品を確認する

●取扱説明書、保証書があることを確認してください。
●グリル扉部の止めテープをはがし、グリル受け皿内・グリルあみの包装材を取り除いてください。
※チェック欄は同梱品確認用としてご利用ください。(例☑)

□上ルーバー	□サイドカバー	□吸・排気カバー	□グリルあみ
1個 	2個  左右で形状が異なります。	1セット（2個） 	1枚
□天ぷらなべ	□焼きあみ	□取扱説明書	□保証書
1個	1枚 		

■グリル扉・受け皿を取り外す

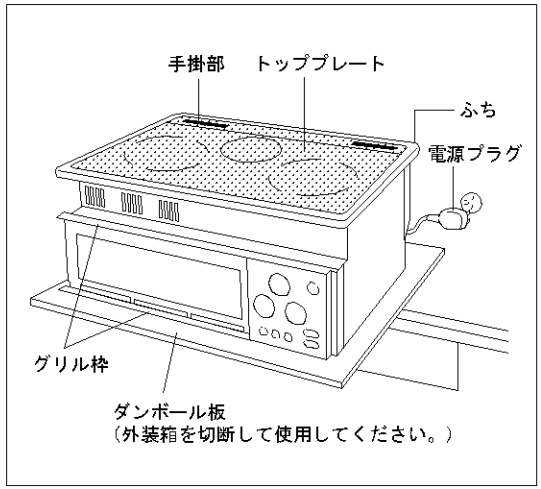
●グリル扉の取っ手を持って引き出し、受け皿を支えながら斜め上方に引き上げる。



本体の据付　（ブレーカーを「切」にして工事を行ってください。）

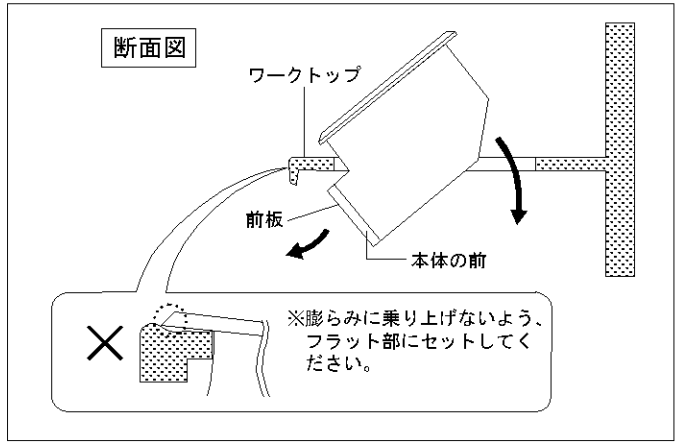
1 電源プラグを差し込む

●本体はトッププレートのふちや手掛部を持ち取り扱ってください。
●ワークトップに傷を付けないように包装用のダンボール板を敷いてください。
●上下のグリル枠を変形させないように注意してください。



2 ワークトップに本体の前面を挿入してから全体をはめ込む

●はめ込み時は、前面のスイッチや前板をワークトップに当てないでください。
（スイッチの破損や前板に傷がつく原因になります。）
●前板とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。
（本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間が生じます。）

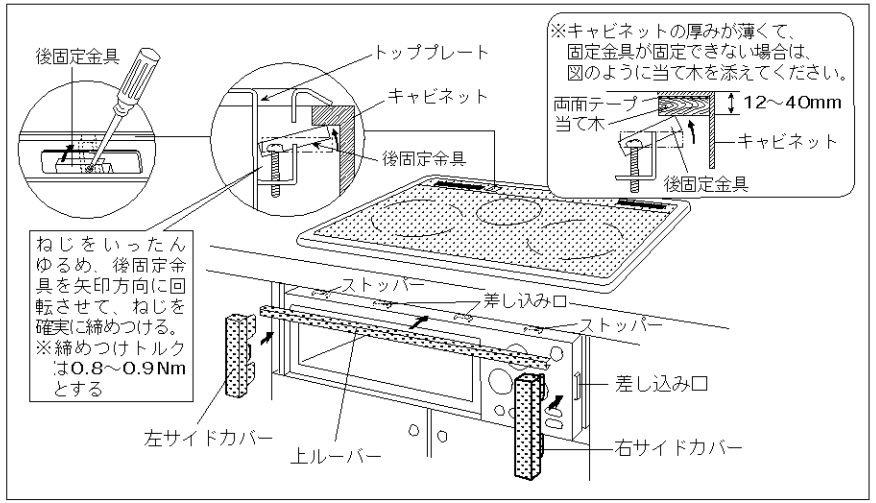


3 (1) サイドカバーを取り付け、本体の位置を調整する

●グリル枠上の差し込み口に上ルーバーを取り付ける。
●前板側面の差し込み口に、サイドカバーを取り付ける。
●サイドカバーとキャビネットの左右側面とのすきまが均一になるように、本体の位置を調整する。
キャビネットの前面(扉面)に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する。

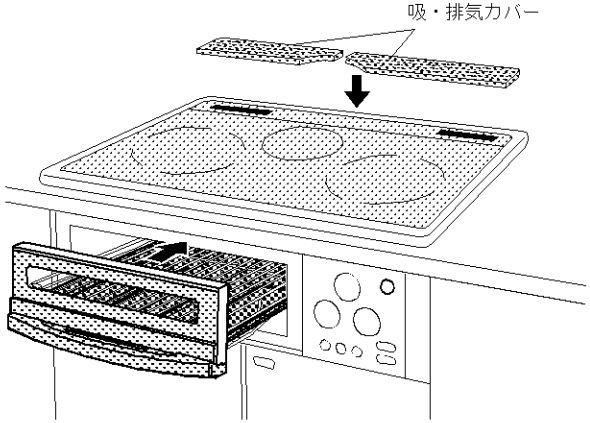
(2) 後固定金具を固定する

●後固定金具によってワークトップに本体を固定する。



6 据付完了後

付属品および グリル扉・受け皿、グリルあみの取り付け



①吸・排気カバーを取り付ける。
②グリル扉・受け皿、グリルあみを取り付ける。

●受け皿の左右を庫内の底部に添わせ、斜め上からはめ込んでください。
※天ぷらなべ、焼きあみ、取扱説明書、保証書は必ずお客さまにお渡しください。

隙間かくし下ルーバーについて

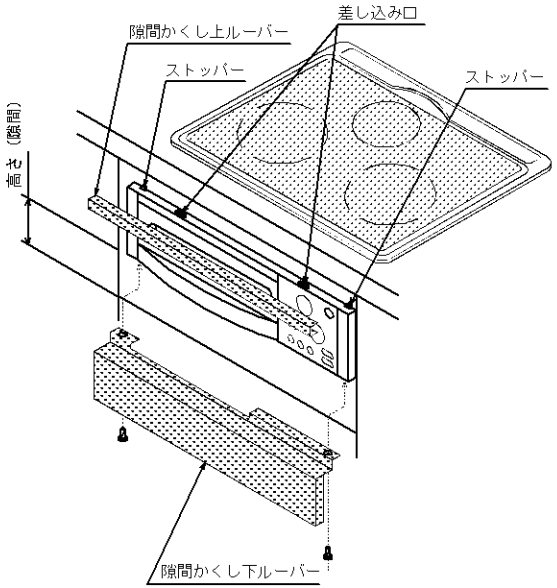
■据付高さによりキャビネットとの間に隙間ができる場合に必要です。

隙間かくし上ルーバー　別売部品

品名	色	寸法 奥行×幅×高さ（隙間）
CS-Z03T10-S	シルバー	15×595×9mm
CS-Z03T10	ブラック	15×595×9mm

隙間かくし下ルーバー　別売部品

品名	色	寸法 奥行×幅×高さ（隙間）
CS-Z03U9-S	シルバー	36.2×595×9mm
CS-Z03U9	ブラック	
CS-Z03U25-S	シルバー	36.2×595×24.5mm
CS-Z03U25	ブラック	
CS-Z03U50-S	シルバー	36.2×595×49.5mm
CS-Z03U50	ブラック	
CS-Z03U80-S	シルバー	36.2×595×79.5mm
CS-Z03U80	ブラック	



※詳細は各別売部品添付の取付要領図をご覧ください。

本製品を購入された販売店へお問い合わせください。

7 据付工事後の確認

■据付終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。

確認項目		チェック
梱包材の取り外し	トッププレート上、グリル受け皿とグリルあみ、吸・排気口の梱包材	
同梱品などの取り付け	吸・排気カバー、グリル受け皿、グリルあみ、上ルーバー、サイドカバー	
お客様にお渡しする	取扱説明書、保証書、据付工事説明書、天ぷらなべ（梱包箱から取り出す）、焼きあみ	
外観	トッププレート部のフレームが浮いていないことを確認する	
	トッププレートが汚れていないことを確認する	
電気工事	電源プラグの接続	
	漏電ブレーカーの設置	

確認試験			チェック
	①電源電圧が単相200Vであることを必ず確認する。 ②ブレーカーを「入」にする。		
	③電源スイッチを「入」にする。	→ ●電源ランプが点灯し、中央のお知らせ液晶に［電源スイッチを入にしました］と表示される。	
	④各ヒーターの動作チェックをする。 ■左・右IH ①火力調節ダイヤルを押し出す。 ②火力調節ダイヤルを回す。	→ ①トッププレートの火力表示ランプが点灯し、液晶表示部に［8］が点灯する。 ②約1分後中央のお知らせ液晶に［右 IHヒーター なべが 適していません］と表示される。 ●火力表示ランプが点滅し、液晶表示部に［8］が点灯する。 ※トッププレートの加熱部に、鉄系のなべ等が置かれている場合、加熱されます。上記の液晶表示はなべが無く、通電されていない状態を示しており、正常です。	
	■中央ヒーター ①火力調節ダイヤルを押し出す。 ②火力調節ダイヤルを回す。 （火力4にする。）	→ ①トッププレートの火力表示ランプが点灯する。 ②中央のお知らせ液晶に［中央ヒーター 調理中です］と表示される。	
	■グリル（グリル扉を閉じた状態で） 上部操作キーで ①［自動メニュー］を1回押す。 ②［グリルスタート］を1回押す。	→ ●約3秒後にトッププレートの中央ヒーター部が赤熱する。 ①中央のお知らせ液晶に［グリル 自動キーと　で 設定スタート］が約5秒表示され、表示が切り替わり［焼き］が反転（点灯）表示される。 ②中央のお知らせ液晶に［姿焼 調理中です 焼色］ ［姿焼 調理時間計算中 焼色］と変化し表示される。	

確認試験後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

【総消費電力の切り替えについて】
本製品は、総消費電力を5800W（工場出荷時の設定）・4800Wの2段階に切り替えることができます。
アンペアブレーカーの容量不足の場合などで、ご使用上不便があるときに選べます。
※詳細は、お買い上げの販売店へお問い合せください。
●切り替え方法

①右IHの［65］［強］2つのキーを同時に押しながら電源スイッチを「入」にする。	➡	①右IH液晶表示部に［58］が点灯する。
②続けて［65］［強］キーを同時に1回押す。	➡	②右IH液晶表示部が［48］に切り替わる。
※キーを押さない状態で5秒経過すると切り替えられなくなります。このときは再度①、②の操作を行ってください。		
設定時の確認は右IHの［強］キーを押しながら電源スイッチを「入」にする。	➡	●右IH液晶表示部に［48］が点灯する。

据付年月日	年　月　日
据付施工店名	
	TEL

愛情点検

三菱電機株式会社
三菱電機ホーム機器株式会社
〒369-1295 埼玉県大里郡花園町小前田1728

お客さまへ……おぼえのために、据付年月日、据付施工店名を記入されると便利です。

ZT790Z661H01